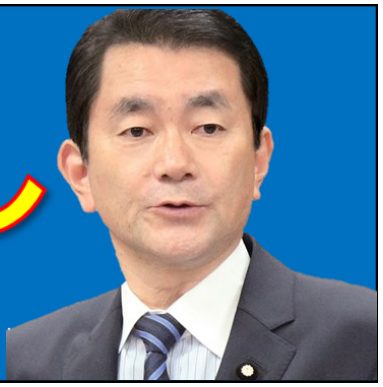
民進党

ひと・暮らし・地方が原点。

参議院議員 野田くによし

国政レポート 2016年 冬季号



【臨時国会】特集：国土交通委員会での連続質問！

野田 11月10日、**『独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構法の一部を改正する法律案』(閣法)**、いわゆる**"リニア新幹線整備法案"等への質問**を行いました。今世紀最大の難工事に挑む、リニア新幹線の整備工事であり、鉄道建設・運輸施設整備支援機構が財政投融資によりJR東海に建設資金の一部を貸し出せるようにする法改正です。

国の施策は国民生活の安心安全を最優先せよ！

その１ ～ 主な質問内容 ～ 【要旨（抜粋）】

1. 博多駅前道路の陥没について①

✓要望 ⇒博多駅前道路陥没事故の工法と、難工事であるリニアのトンネル工法はともにＮＡＴＭ工法である。今回の教訓を是非生かして欲しい！

2. リニア新幹線整備法改正について

●財政投融資の活用 →８年前倒しによる「経済効果」を期待？

✓指摘 ⇒第２の予算の復活？再び公共工事へのバラマキにつながるのでは！

●労働力と技術力 →難工事に挑む技術。リスク管理。大量発生する土砂の処理方法や場所選定は?

✓要望 ⇒慎重には慎重を期してやっていただきたい。

●長崎新幹線 →不具合の発生により約２年間試験走行が中断
（フリーゲージトレイン）

✓確認 ⇒軌間可変技術評価委員会で耐久走行試験の再開を検討中※
（※11/18評価委員会にて了承、12/3改良台車による試験走行予定）

［附帯決議］ 5項目あり！
・政府は、「経営の自主性」を損ねないこと！

野田 11月24日、石井国土交通大臣はじめ政府参考人に対しまして、近年、**老朽化し、耐震化対策を必要とする下水道、上水道、橋梁、トンネルなどの公共施設の整備**をめぐり、現状を確認すると共に、今後どのように維持・管理を行っていくのか、国民のくらしの安心安全を守る観点と、過日の**博多駅前道路陥没事故**についても関連して、様々な角度から一般質問を行いました。

その２ ～ 主な質問内容 ～ 【要旨（抜粋）】

1. 博多駅前の道路陥没について②

●原因究明 ✓要望 ⇒民間有識者も加え、透明性を確保し、しっかりと原因究明を！

●入札方式 ✓指摘 ⇒七隈線工事には、１社提案・落札の工区もある！

●工法選択 ✓疑問 ⇒資材高騰、工事予算不足？、NATM工法は適切であったか？

国民の不安を払拭せよ！！

2. 公共施設整備の老朽化、耐震化について（現状と対策）

●下水道 ⇒下水道の耐用年数は50年。2014年には全国約3,300か所で陥没発生。

✓対応策 →・維持修繕基準の創設し、定期点検を地方公共団体に義務付け
・社会資本整備総合交付金による財政支援

●上水道 ⇒全管路の更新に130年かかる。

✓対応策 →・水道事業者への技術的・財政的支援の継続
・専門委員会による「提言」とりまとめに則り具体策を実施

●橋梁・トンネル ⇒2015年 老朽化対策の工事実績は、橋梁 約1,600か所、トンネル約150か所、橋梁の耐震補強 約200か所との事前報告を受けたが…。

✓要望 →・少なくとも直近5年間のデータの開示を要求、検証結果の公表を求める！

■プロフィール■ 1958(昭和33)年6月3日 福岡県八女郡立花町生まれ。農家の長男として広川町で育つ。福岡県立福島高校卒業。日本大学法学部卒業。代議士秘書を経て、34歳で八女市長に初当選。全国最年少市長(当時)として全国の話題を集め、「改革派・市民派市長」として"オープン・フェア・クリーン"の政治姿勢で4期16年市長職を務める。2009年衆議院議員に初当選（3年3ヶ月）衆農林水産委員会理事。2013年参院選福岡選挙区で初当選し、党国会対策委員長代理、予算委員会理事等を歴任。現在、国土交通委員、消費者問題に関する特別委員会筆頭理事、憲法審査会委員、党常任幹事を務める。

参院『ＴＰＰ審議』開始　日本の農業を守るために！

失言の続いた農林水産大臣の進退問題を抱えたまま、安倍内閣と与党は、11月10日、衆院でのTPP協定関連法案を強行採決しました。よって、昨年の安保法制関連法の採決と同様、このような国会運営に対し厳重に抗議行い、参議院での論戦に挑んでおります。

そのような中、11月18日の参議院での『TPP特別委員会』にて、数多くの疑問と論点を抱えた「農業分野」について、3名の参考人に対し、「わが国の農業の競争力強化策」や「食の安全安心」などをめぐり質問させて頂きました。

質疑の中では、「ぶどう、茶、なし、いちご、い草、大豆、花き」において、これら全て、一つのJAで天皇杯を受賞している、全国的にも類の無い意欲ある団体として、“JAふくおか八女”を取り上げさせていただくなど、有識者である参考人に対して多方面から質問をしております。

質疑　要約抜粋

●野田　「輸出を増やすだけで日本の農業は強くなるのか」と提起

荒幡氏「輸出だけで問題が解決するような雰囲気はよろしくないと思っている。輸入品への対抗力、守りの力を高めてもらいたい」

●野田　「いわゆる『もうかる農業』を実現するためにはどのような展開を図るべきか」

磯田氏「特効薬があれば日本の農業は今とは違った姿になっていただろう」

●野田　「TPPが締結されれば、さらに多くの農産物が輸入されるのではないか、国民が不安に思う食の安心・安全についての見解はいかがか」

作山氏「欧米の先進国を中心にHACCPの義務化が進んでいる、日本でも義務化しないと輸出する資格がなくなる恐れがあり、取り組みへの支援は重要である。」

主な質問内容

（１）TPP対策のあり方

（２）「もうかる農業」にするために必要な施策

（３）食の安全・安心

（４）食料の安全保障　等

参考人

岐阜大学応用生物科学部教授　荒幡克己氏

明治大学農学部准教授　作山巧氏

九州大学准教授　磯田宏氏

いろいろなご要望やお困りのこと、国会見学をご希望の方はご遠慮なく下記へご連絡下さい！

民主党福岡県参議院選挙区第３総支部　メール:info@nodakuniyoshi.net

討議資料

野田くによし事務所

【福岡】〒812-0013
福岡市博多区博多駅東
2-4-16福泉第一ビル6階
Tel:092-436-4580
Fax:092-436-4590

【筑後】〒834-0031
福岡県八女市本町2-81
Tel:0943-24-4630
Fax:0943-24-4631

【国会】〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館３２３号
Tel:03-6550-0323
Fax:03-6551-0323

更　新　中　！

●ホームページ　野田くによし　検索

● facebook